

平成30年5月21日

筑紫野市議会
議長 横尾 秋洋 様

会派つくし野
議員 波多江 祐介

平成30年度市町村議会議員研修会報告書

研修参加について、以下の通り報告します。

記

1. 視察日程
平成30年4月25日（水）から4月26日（木）（1泊2日）
2. 視察先及び研修項目
・全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎2丁目13-1）
「第1回自治体決算の基本実践」
～行政評価を活用した決算審査～
3. 視察者
鹿島康生 議員 原口政信 議員 波多江祐介 議員 （合計3名）
4. 内容 別紙のとおり

以上

「第1回自治体決算の基本実践」

～行政評価を活用した決算審査～

研修日 平成30年4月25日

平成30年4月26日

【研修の目的】

今回の研修では、決算審査の意義、重要性を再確認し、地方議員が身に付けるべき決算審査のポイント及び財政指標による自治体財政分析の手法の習得。

また、これらの決算審査のあるべき姿について考察し、行政評価や、新地方公会計によるバランスシート等の財務書類を活用した決算審査の確認。特に、行政評価手法を活用して事務事業の改善ポイントを検討し、予算審査にも活用していく方法を、演習を通じて身に付ける事で、本市の決算特別委員会・予算特別委員会での審査に十分に発揮する事を目的としています。

【研修日程】

- | | | |
|--------|--------|---------------------|
| 25日(水) | 1・2限目 | 開講・入寮オリエンテーション |
| | ①3・4限目 | 【講義】決算の意義と審査のポイント |
| | ②5限目 | 【演習】決算審査の実践 |
| 26日(木) | ③1・2限目 | 【講義】決算審査の新しいアプローチ |
| | ④3限目 | 【講義】行政評価を用いた決算審査の実践 |
| | 4限目 | 閉講・事務連絡 |

【講師紹介】

- 西南学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 稲沢克祐 博士
- ・学会：国際公会計会、日本公共政策学会、日本地方財政学会
日本地方自治学会、日本会計研究学会
 - ・専門分野：地方財政論、行政評価論、公会計論
 - ・著書：50のポイントでわかるハンドブック
自治体歳入確保の実践方法 ほか

※埼玉県秩父市の財政計画（会計制度の変更）に従事をした。

- 【講義別報告】 ① 3・4 限目 【講義】 決算の意義と審査のポイント
 ② 5 限目 【演習】 決算審査の実践
 ③ 1・2 限目 【講義】 決算審査の新しいアプローチ
 ④ 3 限目 【講義】 行政評価を用いた決算審査の実践

1、自治体決算の基本と実践

①ひと「人口減少、高齢化」

変革の時代：ストックサイクル（ヒト、モノ、カネ）の変化

～基礎的自治体の例～

- ・総人口：84,890人（1959年）⇒69,386人（2009年）8割
- ・児童生徒数：17,789人（1960年）⇒5,886人（2009年）1/3
- ・65歳以上：18,337人（2011年）高齢化率26.7%「国23.2%」

～2050年人口推計

⇒将来人口減少：2050年までに1億人を下回る

⇒人口が半減以上する地点が66%、うち2割は無居住化

⇒生産年齢人口（15～64歳）+年少人口：60%前後、老年人口：40%前後

②もの「道路や橋、施設も老朽化する」

～基礎的自治体の例～

⇒公共施設の延べ床面積28万3千㎡（人口1人当たり4.07㎡）「国3.21㎡」

⇒将来の人口が減少する中で、公共施設の延べ床面積は大きい

⇒今後40年間で、約1060億円の更新費用が必要（年間：26.5億円）

⇒平成17年～21年までの公共施設関係普通建設事業費：年間19.9億円

③おかね「これからの地方財政の課題」

1) 国債残高・地方債残高 合わせて、1,000兆円を超える

2) 人口減少による財政的インパクト

3) 民生費によるクラウドディング・アウト

※政府が公共部門の資金需要をまかなうために国債を大量発行したり、減税など財政政策を行った場合、それが市中金利（市場金利）の上昇を招き、民間の資金需要の充足が困難になる

※このような、地方財政の抱える課題を見据えて決算審査や、各自治体の予算や財政状況を確認する必要があると、冒頭に説明を受けました。

2、自治体決算の基礎

1) 予算と決算

(1) 「決算は終わったことだから・・・、これからの予算が大切」！！

⇒決算の結果を見て、予算を審査するのが基本

予算とは積み上げ作業の結果である

(2) 予算項目は全て歳入歳出決算書に

【予算項目】①歳入歳出予算②継続費③債務負担行為

④繰越明許費 ⑤地方債

【決算項目】①歳入歳出決算書

(3) 決算から予算へ：連続性で考える事が大切！

例) ○○年の決算審査における質問で、○○の政策について

質問 or 確認しましたが、今年度の状況は。など

(4) 決算の流れ。

①会計管理者による決算調整 ②監査委員による審査・意見

④議会による審査・認定 ④法務大臣に報告 ⑤住民に公表

(5) 決算書（法定）

①歳入歳出決算書 ②歳入歳出決算書事項別明細書

③実質収支に関する調書 ④財産に関する調書

※監査委員が見る内容と議会では観点が違う。議会は検証を行い、財政状況、資産の確認を行う。

2) 法定書類についての用語と基礎知識

(1) 歳入予算

①予算現額＝議決予算（当初・補正）＋繰越事業費充当財源

②調定額 ＝過年度収入未済分＋決算年度調停分

③収入済額 ④不能欠損額

⑤歳入未済額＝②－③－④ ※収入未済額を繰り越した場合の対応

⑥予算現額と収入済み額との比較＝①－③

(2) 歳出予算

①予算現額＝議決予算（当初・補正）＋繰越事業費＋予備費充当額

②支出済額 ③翌年度繰越額 ④不用額＝①－②－③

⑤予算減額と支出済額との比較＝①－②

3) 実質収支に関する調書

（詳細は決算カードにて詳細を把握）

4) 決算審査における着眼点

【基本方針】

- (1) 予算審査（当初・補正）との関連から審査する
 - ・ 予算の執行によって、目指す目的は達成されたのか
 - ・ 予算審議における質疑は、執行の中で遵守されたのか
 - ・ 付帯決議がある場合は、決議内容は実行されたのか
- (2) 住民の視点から審査をする
 - ・ 予算の執行によって財政状況はどのようになったのか
 - ・ 財政状況の好転に向けた行財政改革は進められたのか
 - ・ 財政状況の中で、実施すべき行政サービスは目的に達したか

決算審査の基本事項のまとめ（抜粋）

※全体を捉えてから、細部の議論を行う。まず木の大きさ（全体の規模）から、枝ぶり（全体の構成）、そして、葉っぱ（各事務事業）を見る。

3、決算審査の実践

- ①平成28年度、秩父市一般会計歳入歳出決算書
- ②平成28年度、秩父市決算書状況（決算カード）
- ③平成27年度、秩父市決算書状況（決算カード）
- ④平成28年度、秩父市基本事業評価シート

上記の資料を用いて、与えられたテーマについて分析を行いました。

- ①収支健全性の分析について
 - ・ 実質単年度収支の推移
 - ・ 歳入額、財政調整基金残高の推移
 - ・ 歳出額、他の基金残高の推移
 - ・ 単年度収支の推移
- ②弾力性の分析
 - ・ 経常収支比率の類以団体と当該団体との比較
 - ・ 経常収支比率の分母となる経常一般財源等との関連からの比較
 - ・ 科目別の比較①：類以団体よりも規模の大きい数値
 - ・ 科目別の比較②：大きな役割を占める科目の数値

上記の観点から、数値の変動や各様式より特徴の比較を行い、課題に対しての分析結果を発表し意見交換を行いました。

二日間の日程でしたが、研修施設であり充実した環境で講義を受講できました。講義以外での食事も受講者と食堂で取るため、他市町村議員や首長の方と意見交換が出来るなど、施設入寮から退寮まで充実した日程となりました。

さて今回の研修では、決算審査の基本と実践とのテーマで、講義、そして実技の交互に進められ、前日の復習からステップアップと段階を踏んで頂き、理解しやすい内容でした。これまでも予算・決算委員会には携わっておりましたが、他の資料との比較にて見えてくる検証や、根拠。また各自治体特有の課題も「ひと・もの・おかね」と項目別に通年を比較し分析を行えば、今後注目すべき項目が必然的に見通しすることができる。金額が大きいほど大枠を見て詳細に落とししていくことで、住民の視線、住民サービス確保に努められる。今回の研修での資料やメモを今後も大切に活かして、各委員会の役割を最大に発揮致します。

